秋田工芸展

－秋田の工芸・その心と技－

審査方法・賞の決定

●審査方法

全作品を対象に、４つの評価軸ごとに、１０点を満点として採点します。

特に優れている	優れている	良　い	普　通	もの足りない
10	9 ～ 8	7 ～ 6	5 ～ 4	3 ～ 1

●賞の決定　※同一作者の複数受賞は回避する！

①秋田工芸大賞以下８賞は、全作品の中から、４評価軸の合計得点の高位順で決定します。

秋田工芸大賞／秋田県知事賞／
秋田県教育委員会教育長賞／秋田県県議会議長賞／秋田市長賞／
秋田市議会議長賞／秋田魁新報社賞

②評価軸別の各賞は、上記８作品を除いた全ての作品から評価軸別の合計得点の高位順で決定します。

匠(たくみ)賞／発(はなつ)賞／展(ひろげる)賞／拓(ひらく)賞

③奨励賞は、上記 ①、② の１２作品を除いた作品から、４評価軸の合計得点の高位順で決定します。

秋田県芸術文化協会賞／秋田県商工会議所連合会賞／秋田県商工会連合会賞／
NHK秋田放送局賞／ABS秋田放送賞／AKT秋田テレビ賞／AAB秋田朝日放送賞／
エフエム秋田賞

※エフエム秋田賞の決定時に同点者が出た場合のみ「審査員特別賞」を設けます

●賞の決定における注意点

同点ルール

総合得点が同点になる者が複数出た場合に適用されるルール

①低い評価より高い評価を重視する

②審査員個々の点数よりも全員の合計点数を優先する

総合得点が同点の場合は、各評価軸の合計得点でより高い点を得ている者を上位とみなして賞を決定する。
それも同点の場合は、個々の点数でより高い点を得ている者を上位とみなして賞を決定する。
それらも同点で賞を決定出来ない場合は、審査員に改めて該当作品の採点をいただき、その合計点の高い者を上位とする。

●賞の決定における注意点／同点ルール

①低い評価より高い評価を重視する

例）

	１０	1	1	1
	高い評価		低い評価	
上	１０	1	1	1	合計 １３
	5	5	2	1	合計 １３

●賞の決定における注意点／同点ルール

②審査員個々の点数よりも全員の合計点数を優先する

総合得点が同点の場合は、各評価軸の合計得点でより高い点を得ている者を上位とみなして賞を決定する。

	匠　軸					発　軸					展　軸					拓　軸					総合
	審1	審2	審3	審4	計	審1	審2	審3	審4	計	審1	審2	審3	審4	計	審1	審2	審3	審4	計	合計
1	7	5	6	5	23	9	7	6	8	30	9	5	6	7	27	9	8	8	6	31	111
3	7	8	8	6	29	7	8	6	6	27	7	9	7	6	29	6	8	6	6	26	111
2	8	7	8	7	30	7	8	7	7	29	7	7	6	6	26	6	7	6	7	26	111

それも同点の場合は、個々の点数でより高い点を得ている者を上位とみなして賞を決定する。

これでも同点で賞を決定出来ない場合は、審査員に再度採点をいただき点数の順に賞を決定する。これも同点になった場合は、同点ルールを適用し、個々の点数で高い点を得ている者上位と見なして賞を決定する。それでも同点の場合は差が出るまで採点～集計を行う。